

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

愛知県公立陶生病院組合 公立陶生病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	30	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感災地
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
-	66,673	非該当	7:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
602	-	25
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	6	633
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
602	-	602

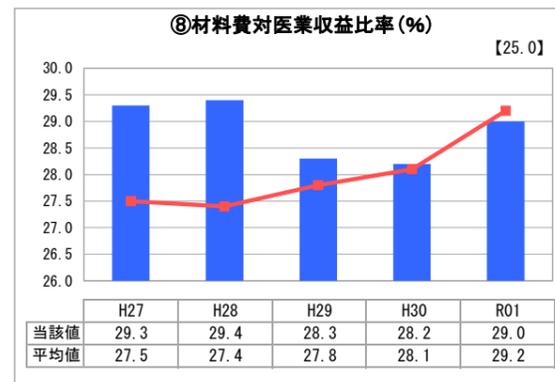
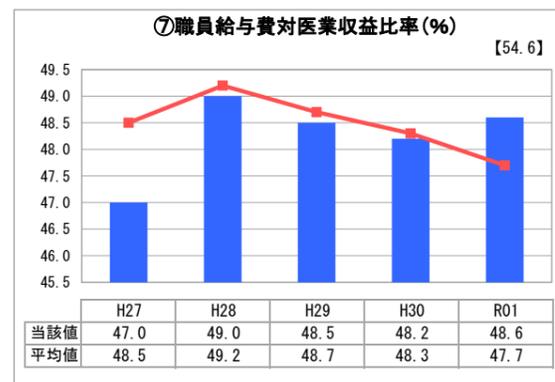
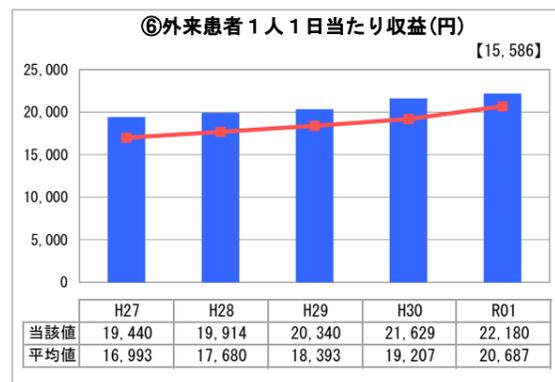
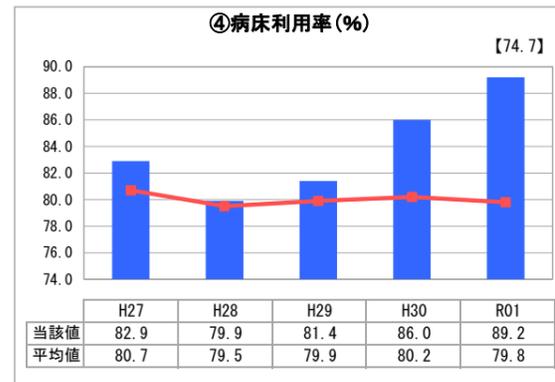
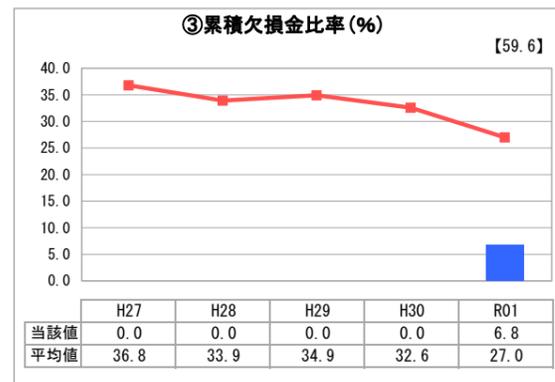
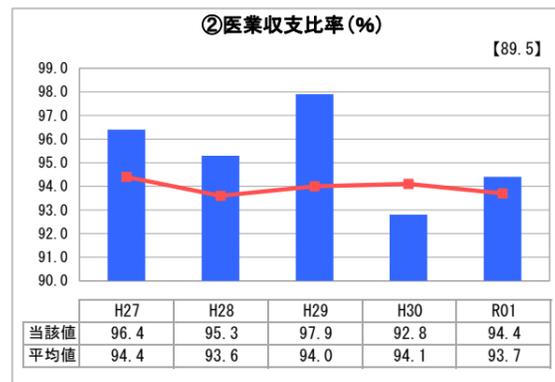
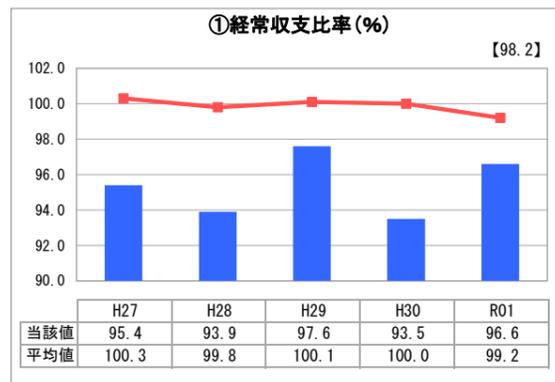
**グラフ凡例**

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

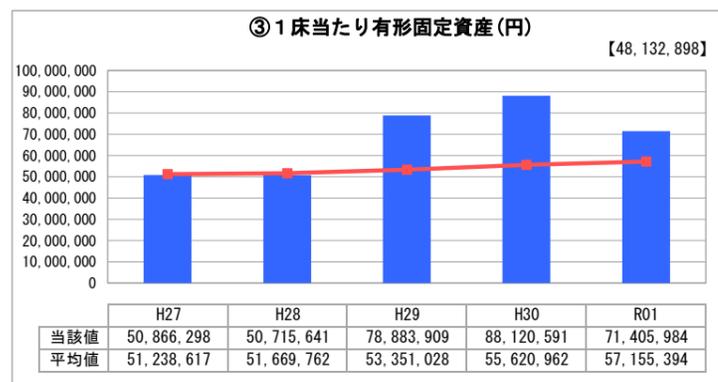
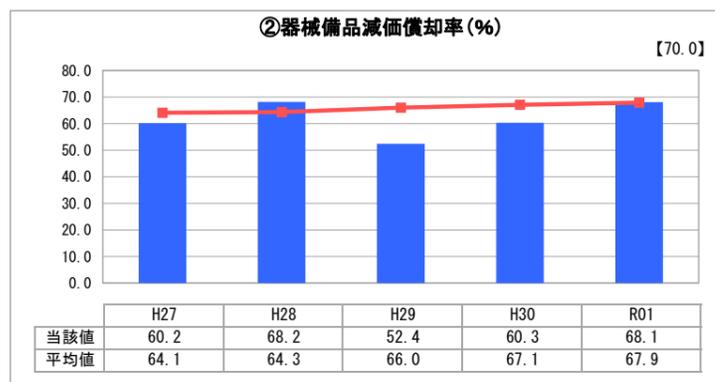
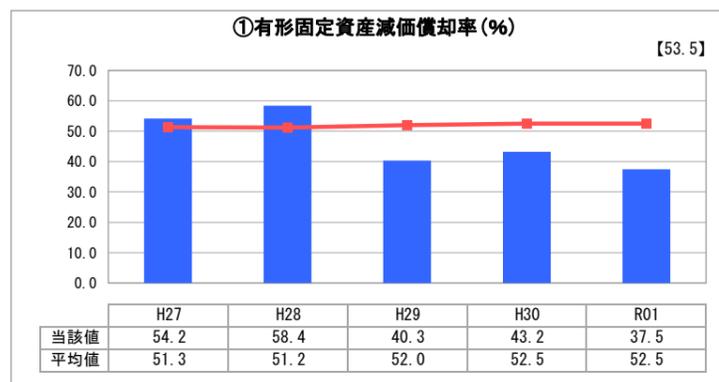
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

### I 地域において担っている役割

当院は急性期医療を担う尾張東部医療圏唯一の公立病院として、地域医療計画で位置付けられている5疾病5事業のうち、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療等の高度な医療を提供することにより地域住民の生命と安全安心を守る役割を担っている。また、結核や感染症といった政策的でありかつ採算性の面で民間では運営困難な医療も提供している。当年度終盤に新型コロナウイルス感染症が拡大しはじめた際、保健所等の行政機関と連携し、県内でも早い段階から患者を受け入れてきたことは、感染症指定医療機関としての役割を果たしていることを示すものである。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率②医業収支比率共に改善できた。近年、①経常収支比率100%を達成できない大きな要因として病棟建替後の減価償却費、支払利息等の増大が挙げられるが、この傾向は令和5年度頃まで続く見込まれる。④病床利用率は、地域医療連携の強化や病床管理の効率化に注力したことで類似病院の平均を大きく上回る成果が出せた。⑤入院1人1日当たり収益は、前年度から微増に止まったが、地域医療での役割分担をさらに推進し、専門的に高度な医療を提供していけば収益力の向上に繋がるものと考えている。⑦職員給与費対医業収益比率の上昇については、退職給付費の増加によるもので一過性のものとみている。

#### 2. 老朽化の状況について

平成29年度新病棟竣工、医療情報システム、主要な医療器械等の償却資産を取得。平成30年5月新病棟運用開始、701床の許可病床数を633床に減床。令和元年度旧病棟解体、駐車場整備等の外構工事の完成をもって建替事業完了。以上のような経緯を経て、建物、構築物の老朽化に対応できたことは①有形固定資産減価償却率が示している。②器械備品減価償却率は予定通りの推移であるとは言え、今後も医療の質を維持向上していくうえで、財政面での費用対効果も重視した計画的な設備投資が必要である。③1床当たり有形固定資産は、併存していた旧病棟を除却したことにより低下し、当面の間は今年度の数値をベースに推移していくものと見込んでいる。

#### 全体総括

医業収益では、年度終盤のコロナ禍による患者減少の影響を受けたが、上述の取組などにより前年度を大きく上回ることができた。支出の面では、大規模な設備投資による減価償却費が収支を圧迫している状況ではあるが、増収に伴い材料費も大幅に増加したことも実態である。その対応策として年度途中から一括購入や在庫管理等を効率的に運用できる院内物流管理システムを導入し、費用削減の効果も出始めてきたところである。最後に旧病棟の除却損(特別損失)により平成21年度以来の累積欠損金の計上となった。今後も厳しい財政運営となる見通しであるが、当院の役割を果たしつつ経常収支の改善を常に考え実行し、再び累積黒字病院となることを目標とする。(平成28年度改革プラン策定済み、令和3年度見直し予定)

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。